

令和7年度一般選抜試験

学 力 試 験

数学，物理，化学，生物，日本史， 世界史，英語，国語

令和7年2月24日 9時30分—11時30分

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 各科目の問題は下記のページにある。

科目名	数 学	物 理	化 学	生 物	日本史	世界史	英 語	国 語
ページ	3～7	8～12	14～19	20～27	28～33	34～38	39～50	51～63

国語は順序が逆で63ページ(国語1)から始まり51ページ(国語13)で終わるので注意すること。

- 3 出願時に届け出てある2科目の問題に解答すること。これに違反した解答は無効とする。
- 4 解答には黒鉛筆、黒色シャープペンシル又は黒色ボールペンを使用すること。
- 5 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
- 6 解答用紙の指定欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。
- 7 解答の記入の仕方については、解答用紙並びに問題の初めに書いてある注意に従うこと。
- 8 本冊子の余白は計算・草稿用に使用してよい。ただし、切り離さないこと。
- 9 試験時間内の答案提出、退室は認めない。
- 10 問題冊子及び解答用紙は、全て回収するので持ち帰らないこと。

学 科 ・ コ ー ス		受 験 番 号						氏	
								名	

上欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。

日 本 史

- 1 問題〔1〕～〔5〕のうちから4問選択して解答すること。
- 2 選択した問題の番号を解答用紙の選択問題番号欄に記入すること。

〔1〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

1180年に伊豆で挙兵した源頼朝は実力で東国を制圧した。頼朝は配下の武士に敵や謀反人から没収した各地の所領を分け与えた。この仕組みを〔1〕と呼ぶ。そのため武士たちは競って頼朝と主従関係を結び御家人になっていった。鎌倉に入った頼朝は、このような御家人を統率するためにまず侍所をおき、〔2〕を初代の別当にすえた。

源頼朝の弟の源義経が京都に入ると朝廷の〔3〕は頼朝に東国支配の広範な権限を与えた。頼朝は1184年には政務を担当する〔4〕(のちに〔5〕と名称変更)を開設し、〔6〕を初代の別当に起用した。

源義経が壇ノ浦の合戦で平氏を滅ぼした後、源頼朝は朝廷から文治勅許を与えられ、各地に〔7〕を置き西国まで支配を広げた。当初〔7〕は荘園・国衙領の区別なく一律に兵糧米を取り立てたが、現地の混乱が大きく翌年には停止された。その後は田地支配の権限を持たない〔8〕^①が配置され治安維持を行った。地方の支配に当たっては京都の京都〔8〕、九州の〔9〕、東北の奥州総奉行など要所に拠点を置いて統率を図った。1192年には征夷大將軍に任命された。

1199年に源頼朝は没し、嫡男が役職を継いだ。^②

問1 空欄〔1〕～〔9〕に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|-----------|--------|--------|---------|
| a 墾田永年私財法 | b 守護 | c 班田収授 | d 戦国大名 |
| e 後白河上皇 | f 新恩給与 | g 政所 | h 鎮西奉行 |
| i 大宰府 | j 譜代大名 | k 名護屋城 | l 国司 |
| m 老中 | n 大江広元 | o 和田義盛 | p 後鳥羽上皇 |
| q 六波羅探題 | r 防人 | s 三浦義澄 | t 公文所 |
| u 大番頭 | v 地頭 | w 北条時政 | x 以仁王 |

問2 下線部①について、治安維持のために「地域の御家人を京都や鎌倉の警護に当たらせる大番催促」、「謀反人の逮捕」、「殺害人の逮捕」という3つの役割を行った。この3つの役割を合わせて何とよぶか、5文字で答えよ。

問3 下線部②について、將軍職を継いだ人物の名を漢字3文字で答えよ。

問4 鎌倉時代の土地支配に関する社会の変化として誤っているものを1つ選び、記号で答えよ。

- a 西国をおもな基盤としながら全国を統治する朝廷と、全国の軍事・警察権と東国の行政権を委ねられ、重要政務について朝廷から意見を求められた幕府とは、権限を複雑に分掌しながら協力して統治をおこなっていた。
- b 公家や僧侶がいた京は政治と宗教の機能の多くを保持し、同時に荘園領主でもあるために経済的地位も高かった。
- c 鎌倉幕府は鑄造を一手に担い貨幣の統一を行ったため、貨幣経済が浸透し、東国・西国を問わず荘園での年貢徴収は貨幣でおこなわれるようになった。
- d 西国を中心に、将軍と主従関係を結ばない武士もかなり存在し、荘園内に拠点を構えていた。
- e 荘園の年貢を横領する武士もいたが、荘園領主は、経営に練達した預所・雑掌あずかりどころ ざっしょうを現地に派遣し、幕府に武士の非法を訴えるなどして、荘園を維持しようとした。

〔2〕 次の年表を見て、以下の問いに答えよ。

1600	<input type="text" value="1"/>	船リーフデ号が豊後に漂着
1604	<input type="text" value="X"/>	制度を創設
1607		朝鮮使節の来日
1609		薩摩藩、琉球制圧。 <u>己酉約条</u> 。 <input type="text" value="2"/> が平戸に商館設立 <small>①</small>
1612		幕領に禁教令（1613 全国へ拡大）
1613		支倉常長らローマを訪問（ <u>慶長遣欧使節</u> ） <small>②</small>
1616	<input type="text" value="3"/>	船を除く外国船の入港地を平戸・長崎に制限
1623	<input type="text" value="4"/>	が平戸商館を閉鎖し、退去
1624	<input type="text" value="5"/>	船の来航を禁止
1631	<input type="text" value="Y"/>	船制度始まる
1633	<input type="text" value="Y"/>	船以外の海外渡航禁止
1635		日本人の海外渡航と帰国の全面禁止
1637		<u>島原の乱</u> （島原・天草一揆）（～ 1638） <small>③</small>
1639	<input type="text" value="6"/>	船の来航を禁止
1641	<input type="text" value="7"/>	商館を出島へ移転

問1 空欄 ～ に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。ただし、同じ語句を複数用いることもある。

- a スペイン b イギリス c フランス d ドイツ e オランダ
f ポルトガル g イタリア h アメリカ i 中国 j ロシア

問2 下線部①で、徳川家康から相手国と交渉する地位を認められた者を次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 松前氏 b 宗氏 c 島津氏 d 毛利氏

問3 下線部②を派遣した人物を次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 徳川家康 b 徳川家光 c 伊達政宗 d 豊臣秀頼

問4 下線部③について述べた次の2つの文章の正誤の組み合わせとして正しいものを次から1つ選び、記号で答えよ。

x	一揆側は、益田（天草四郎）時貞を首領として原城跡にたてこもった
y	一揆勢には、農民・キリスト教信徒や、仕える主人を失った牢人（浪人）たちがいた

- a x正 y正 b x正 y誤 c x誤 y正 d x誤 y誤

問5 制度は、外国の商人が中国産の生糸（白糸）を独占して値段をつり上げるのを防ぐために、幕府が特定の商人に輸入生糸をまとめて安く購入させる制度である。空欄 に当てはまる語句を漢字3文字で答えよ。

問6 空欄 に当てはまる語句を漢字2文字で答えよ。

〔3〕 次の資料を読み、以下の問いに答えよ。

資料A

一に曰く、 を以て貴しとなし、忤ふること無きを宗とせよ。
二に曰く、篤く を敬へ。
三に曰く、詔を承りては必ず謹め。 をば則ち天とす、 をば則ち地とす。
十二に曰く、国司、国造、百姓に斂めとることなかれ。国に二の君なく、民に両の主なし。率土^①の兆民、王を以て主とす。

資料B

大業三年、其の王 、使を遣して朝貢す。使者曰く、「聞くならく、海西の菩薩天子、^②重ねて を興すと。故、遣して朝拝せしめ、兼ねて 数十人、来りて を学ぶ」と。其の国書に曰く、「日出づる処の 、書を日没する処の に致す。恙無きや、云云」と。

問1 空欄 ～ に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|--------|--------|
| a 仏法 | b 沙門 | c 天子 | d 推古天皇 | e 聖徳太子 |
| f 厩戸王 | g 王子 | h 天皇 | i 君 | j 三宝 |
| k 多利思比孤 | l 五部浄 | m 比丘尼 | n 和 | o 臣 |
| p 子 | | | | |

問2 資料Aの名称を答えよ。

問3 資料Bは中国の歴史書である。その名称を答えよ。

問4 下線部①に関して、王権の財物を管理した中央豪族の氏の名を答えよ。

問5 下線部②の大業三年とは西暦何年のことか、数字で答えよ。

〔4〕 次の文章と史料について、以下の問いに答えよ。

1916年には [X] が以下の史料に記されているような [1] を提唱した。[X] は、普通選挙制にもとづく政党内閣が、下層階級の経済的不平等を是正すべきであると論じたのである。

① これは [2] の天皇機関説とともに大正デモクラシーの理念となった。

その後、しだいに政治の民主化を求める国民の声が強まっていった。しかし、同年第二次 [3] 内閣が総辞職すると、陸軍軍人で初代朝鮮総督を務めた [4] が、「挙国一致」を掲げて内閣を組織した。前内閣の与党各派が合同して [5] 会を結成してこれに対応すると、[4] は翌1917年に衆議院を解散し、総選挙をおこなった。その結果、[5] 会に代わり [6] 会が衆議院第一党となった。内閣は、[6] 会の原敬と立憲国民党の [7] ら、政党の代表を取り込み、これに閣僚を加え、外交政策の統一をはかるためとして、臨時外交調査委員会を設置した。

史料（『中央公論』1916年1月号）

[1] といふ文字は、日本語としては極めて新らしい用例である。従来は [8] といふ語を以て普通に唱へられて居ったやうだ。時としては又民衆主義とか、平民主義とか呼ばれたこともある。然し、[8] といへば、[9] 党など、いふ場合に於けるが如く、「国家の主権は [10] にあり」といふ危険なる学説と混同され易い。此の言葉は（中略）二つの異った意味に用ひられて居るやうに思ふ。一つは「国家の主権は法理上 [10] に在り」といふ意味に、又モ一つは「国家の主権の活動の基本的の目標は政治上 [10] に在るべし」といふ意味に用ひられる。この第二の意味に用ひらるゝ時に、我々は之を [1] と訳するのである。

問1 空欄 [1] ～ [10] に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|---------|
| a 共産 | b 高橋是清 | c 立憲改進黨 | d 立憲政友 | e 美濃部達吉 |
| f 幸徳秋水 | g 立憲同志 | h 普通選挙法 | i 堺利彦 | j 寺内正毅 |
| k 人民 | l 大隈重信 | m 憲政 | n 臣民 | o 加藤高明 |
| p 板垣退助 | q 国民 | r 犬養毅 | s 桂太郎 | t 民本主義 |
| u 共産主義 | v 社会民主 | w 民主主義 | | |

問2 空欄 [X] に当てはまる人物の名を漢字で答えよ。

問3 下線部①について、1925年の普通選挙法で実施された選挙制度を最も適切に説明している文を次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 直接税10円以上を納めているすべての男女に選挙権が与えられた。
- b 満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。
- c 満25歳以上のすべての男女に選挙権が与えられた。
- d 満20歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。
- e 直接税3円以上納めているすべての男子に選挙権が与えられた。

〔5〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

- A 日中戦争が始まると、第一次 [1] 内閣は国民を戦争に動員するために、1937（昭和12）年10月から、「挙国一致」「尽忠報国」「堅忍持久」をかかげた [2] を開始した。総力戦の遂行に向けて労働者を全面的に動員するため、労資一体で国策に協力する [3] の結成も勧められた。また、巨額の軍事予算を編成するとともに、直接的な経済統制に踏みきった。[4] ・輸出入等臨時措置法などを制定して、軍需産業に資金や輸入資材を集中的に割り当てることとした。戦争の拡大につれて軍事費は急増し、財政膨張は相次ぐ増税をもたらした。膨大な歳出をまかなえずに多額の公債が発行されて、紙幣増発によるインフレーションが進行していった。
- B 1938（昭和13）年4月には政府が議会の承認なしに労働力や物資を統制・運用する権限を得る [5] を制定した。これにより国民生活は全面的な統制下に置かれることとなった。同時に制定された [6] は、民間の国策会社を設立し、国家がこれを管理するというもので、政府が私企業への介入を強めるきっかけとなった。翌1939（昭和14）年には、国民を軍需工場に動員する [7] や公定価格を定めて物価を統制する [8] などを制定した。
- C 戦時体制の強化とともに文化の統制もすすみ、文学界では1930年代に島崎藤村・志賀直哉らの^①大家が成熟した作品をうみだしたが、労働階級の現実を描いた [9] は弾圧と転向によって壊滅状態となった。一方で、時流にのって日本の伝統への回帰と反近代を唱える日本浪漫派が台頭し、文学の民族主義的傾向に影響を及ぼした。日中戦争期には、従軍した作家たちによる戦争文学が登場した。なかでも、みずからの従軍経験をもとに戦場の兵隊の姿を描いた [10] の『麦と兵隊』は人気を博した。

問1 空欄 [1] ～ [10] に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| a 広田弘毅 | b 産業報国会 | c プロレタリア文学運動 |
| d 大政翼賛会 | e 国家改造運動 | f 近衛文磨 |
| g 友愛会 | h 国家総動員法 | i 国民徴用令 |
| j 治安警察法 | k 国民精神総動員運動 | l 工場法 |
| m 電力管理法 | n 横光利一 | o 価格等統制令 |
| p 臨時資金調整法 | q 火野葦平 | r 重要産業統制法 |
| s 河上肇 | t 新劇運動 | u 戯作文学 |
| v 文官任用令 | | |

問2 下線部①の作品として適当なものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| a 『赤い鳥』 | b 『蟹工船』 | c 『生きてゐる兵隊』 |
| d 『夜明け前』 | e 『細雪』 | |

問3 1940（昭和15）年、米の供出制が始まり、砂糖・マッチの切符制も導入され、「ぜいたくは敵だ」というスローガンのもとで消費の抑制と貯蓄が強制された。1940年に出された贅沢品の製造・販売を禁止する勅令は通称で何とよぶか、答えよ。